

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	270200983		
法人名	社会福祉法人 桜友会		
事業所名	グループホーム さくらの里		
所在地	青森県弘前市大字藤代字広田131-1		
自己評価作成日	令和3年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会		
所在地	青森県青森市中央3丁目20番30号		
訪問調査日	令和3年12月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の生活歴を大切に、経験や知識を活かして暮らしの中に役割を持てるように、認知状態や身体面に合わせた軽作業等を手伝っていただいています。
 また、毎日のレクリエーションや体操のほか、施設内ではお誕生日会や納涼祭、敬老会等、時期に合わせた行事を開催し、生きがいのある生活を送っていただいています。
 昨今は感染症対策のため開催を見送っていますが、さくら祭り、ねぶた祭り、紅葉ドライブ等、外出の機会を設けています。好みの昼食を食べたり、お土産を購入する等しており、大変好評です。
 家族の一員のような信頼関係を築き、毎日笑顔で過ごせるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの周辺は田んぼに囲まれており、のどかな環境の中で穏やかに過ごしている。利用者の日常や行事で撮影した写真等をアルバムにしてまとめており、家族に大変喜ばれている。昼食は職員も一緒に席で摂っており、会話をしながら和気あいあいと楽しく過ごせるよう工夫している。同法人の介護老人保健施設や通所介護等が隣接しており、本人の状況に合わせて連携しながら一体的に支援を行っており、利用者様・ご家族様も安心して過ごすことができる環境にある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をホールに掲示しています。職員が理念を理解・共有し、実践しています。	ホーム独自の理念「暮らしの中に笑顔を忘れず、地域の皆様が気軽に足を運べるような施設作りをめざします」があり、毎日の申し送り時に唱和し、全職員で共有して理解を深めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	広報誌を市役所や地域包括支援センター、町会長、民生委員、ご家族様に毎月送付しています。また、町内会に加盟しており、回覧版で町内の様子を拝見し、交流を図れるようにしています。	町内会に加入しており、回覧板等を通して地域に向けて情報発信をしており、交流する機会を設けている。また、コロナ禍前は地域の保育園からの訪問等があり、利用者から大変喜ばれていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	納涼祭や餅つき会では、地域の方々及びご家族様に参加・協力していただいています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では情報交換をしながらご意見をいただき、サービス向上に努めています。また、外部評価の結果も報告しています。	コロナ禍のため運営推進会議は2ヶ月に1回文書で行っており、利用者や運営の状況等を報告している。メンバーから様々な意見をいただき、ホーム運営に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月、広報誌や入居・待機状況を送付しています。また、会議や資料送付時に自己評価・外部評価・目標達成計画を提出し、報告を行っています。	運営推進会議には市の担当課または地域包括支援センターの職員どちらかが毎回参加しており、情報交換をしている。昨今はコロナウイルス関連で連絡を取り合っており、日頃から連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修やマニュアルを通じて理解しています。職員側の都合ではなく、利用者様の目線に立ち、拘束を行わない姿勢で日々のケアを提供しています。	身体拘束に関するマニュアルを作成しているほか、身体拘束廃止委員会を定期的開催している。職員は勉強会等を通じて身体拘束の内容や弊害について理解しており、身体拘束は行わないケアを実践している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修への参加や資料等で全職員が虐待防止法に関する理解を深め、取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修、資料を参考に周知を徹底し、権利擁護について理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様及びご家族様に理解していただけるよう、疑問点が残らないように丁寧に説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見が出せない利用者様には、言動や不満を行動で察するように努めています。	利用者とのコミュニケーションを大切にし、気軽に意見や苦情を出しやすい関係作りに努めている。ホームでは、第三者委員を設置しており、直接外部へ意見を出せる体制となっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議のほか、随時個人の意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映しています。	毎月職員会議を行っており、利用者の状況や運営等について、職員も意見を出し合って検討している。勤務体制や休暇等についても意見を聞いており、働きやすい職場作りに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況を把握し、疑問があれば都度説明しています。職員が興味を持った研修に参加できるよう配慮し、向上心を大切にしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人の目標としている資格取得やそれに伴う研修、事業所の資質向上に向けて、学びの機会を確保しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターで開催する研修会等に参加し、交流しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面会し、生活歴・既往歴・心身の状態・要望等を把握し、安心して生活できるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に面会し、ご家族様の目線に立って要望等に耳を傾け、信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の現状を確認し、対応可能か検討し、困難な場合は他施設や医療機関を紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	行事やレクリエーションに利用者様と職員と一緒に参加して、共に笑い、楽しく過ごしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の広報誌の送付のほか、面会時に情報交換を行い、協力関係を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出・外泊・面会の機会を妨げないようにし、これまで関わってきた人との関係が途切れないように努めています。	コロナ禍ではあるが、これまでの繋がりを大切に考えており、リモート面会や手紙、電話でのやりとりの支援を行い、交流が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様同士の席を近くにしたり、難聴気味な方には職員が介入する等して、孤立しない環境作りに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関に入院して退所した方の面会や、ご家族様の相談を受ける等しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所前にご本人・ご家族様と面談して情報収集を行い、思いを実現できるように検討しています。	職員は日々のケアを通して、利用者の言動を観察し、希望や意向の把握に努めている。また、家族や知人等、利用者を知っている関係者からも情報収集を行い、全職員で共有して本人本位の支援を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に生活歴や生活環境を確認しています。他の介護サービスを利用していた方には、情報提供を依頼し、記録しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや過ごし方から心身の状態変化を把握し、個人の能力に合った軽作業をお願いしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の様子のほか、全職員から意見や気づきを聞いてニーズを把握しています。利用者様の心身状況や変化を見直し、ご家族様の要望・意見を基に介護計画を作成しています。	できる限り本人から意見を聞くほか、家族や担当職員の意見や気づきを基に全職員で検討し、介護計画に反映させている。利用者の現状に即した個別かつ具体的な介護計画となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の状態を記録し、申し送り時に共有し、問題点はノートに記入しています。定期的に担当者会議を開催し、職員の意見を介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様が遠方に住んでいる利用者様のために、オンライン面会を実施する等、新しい試みを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町会長と民生委員に地域の状況を伺い、協力をお願いしています。また、地域包括支援センターの職員に助言をいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様と相談しながらかかりつけ医と連携し、希望に沿った医療が受けられるように支援しています。受診結果は、ご家族様に報告しています。	入居時の聞き取りから受診状況を把握しており、入居後も希望する医療機関を受診するように支援している。また、歯科や眼科等の専門医への受診も対応しており、必要な医療が適切に受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は配置していないが、必要に応じて同一法人の看護師に相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入・退院時は、ご家族様・医療機関と情報交換し、退院に向けた支援をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアを実施したことはないが、重度化・終末期における対応を入所時に説明しています。状態の変化に応じて可能な範囲内での支援をするほか、他施設・医療機関の紹介を行っています。	入居時に重度化や看取りについてホームの方針を説明し、納得していただいたうえで入居していただいている。日常的な健康管理や急変時の対応については、日頃から本人や家族、医療機関と話し合いを行って意思統一を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時は施設から自宅が近い職員へ連絡し、対応できるように備えています。また、年2回避難訓練を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害を想定した避難訓練や緊急時マニュアルを把握し、実践しています。また、備蓄品の確保のほか、消防団と協力体制を構築しています。	避難訓練は年2回夜間も想定して行っており、地域の消防団から協力を得られる体制である。食料品や飲料水のほか、防寒器具等も用意している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格やプライバシーを配慮し、失敗時はご本人の居室で声掛けをしています。	職員は利用者の言動を否定したり拒否しないケアに努めている。個人情報やプライバシーについて職員会議等で振り返る等、日頃から利用者への声掛けや対応についてホーム全体で改善に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉や表情、仕草に注意して、ゆっくりとご自身で決定できるように支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースや体調を考慮し、軽作業やレクリエーションの無理強いはしていません。希望を優先した支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みの髪型や服装を取り入れ、その日の気温や体調を確認してさりげなくアドバイスをしています。外出時はおしゃれを楽しめるようご本人と一緒に洋服選びを行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好みや苦手な物に考慮しています。旬の物を取り入れ、季節感を味わっていただいています。昼食時は職員が同席して、声掛けや会話をしながら楽しく食事をしています。	利用者の好みを把握しており、栄養バランスを考慮した食事を提供している。利用者の状況に応じて、調理の下ごしらえ等を行っており、準備を含めて食事の時間が楽しく過ごせるように取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや個人の好み、咀嚼・嚥下能力に合わせ、ミキサー食や副食を小さくしたり、主食を柔らかくして提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔ケアを促しています。できない方には声かけ介助を行っています。また、外出後のうがい等、清潔保持に努めています。義歯は毎日洗浄を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的にトイレ誘導を行うほか、ご本人を観察しながら声掛けをして支援をしています。また、排便をチェックし、記録を残しています。	一人ひとりの排泄パターンを把握しており、必要に応じて羞恥心に配慮した声掛けを行い、トイレ誘導をしている。オムツやパッドの継続について随時検討しており、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食に乳製品やバナナを提供するほか、水分摂取できるように声掛けをしています。排便チェックを行い、医師の指示により便秘薬を使用することもあります。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた支援をしている	利用者様の体調を考慮しながら週3回程入浴できるように支援しています。一人ひとりの好みの入浴作法を実施し、快適に入浴していただけるように支援しています。	利用者一人ひとりの習慣や好みに合わせて、基本週3回入浴できるようにしている。利用者の羞恥心や負担感に配慮し、個別に対応しており、快適な入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様一人ひとりの体調に合わせて、都度臥床・休息を促しています。夜間眠れない方には、話し相手となったり、寝具・衣類の調節し、心地よく眠れる環境作りを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による管理指導を行っていただいています。薬局と連携して、状態・症状に合わせた服薬の支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の希望に合わせて、軽作業や余暇活動を行っています。生活の中でできる事、できる楽しさを見つけられるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気や希望に合わせて、敷地内の花を觀賞をしたり、散歩をしています。毎月1回は外食や外出の機会を提供できるように取り組んでいます。	コロナ禍で以前のように遠方に外出する機会は減ったが、天気の良い日は敷地内にある観葉植物へ水をあげたり、近隣を散歩する等、利用者が気分転換できるように取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談しながら管理可能な方は自身で所持していただいています。大半の利用者様がホームでお預かりしています。間食や嗜好品、外出時の買い物に使用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は、ご家族様や知人と電話できるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内に職員と利用者様が作った物を装飾し、季節感のある環境作りをしています。室内温度・湿度を記録し、窓やカーテンの開閉で調節し心地良く過ごせるようにしています。	ホールにはテーブルと大きなソファを配置しており、利用者は思い思いの場所で過ごしている。また、クリスマスツリーや手作りの作品を飾っており、家庭的で穏やかな雰囲気となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでテレビや雑誌を見たり、利用者様同士で会話を楽しんでいます。また、玄関近くで花を眺めたり、廊下奥で外の景色を眺める等、ゆったりと過ごしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真を飾ったり、自宅で使用していた小物や飾り物、趣味の編み物等の持ち込みがあります。	ホームでは、馴染みの物やお気に入りの物を持ってきてもらうように促している。居室には位牌や家族の写真等の持ち込みがある。利用者が安心して生活できる居心地の良い居室作りの支援を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内に手すりを整備しています。また、混乱がないように居室前に名前を表示しています。また、居室内を整理整頓して環境を整備しています。		